

学校開校 準備委員会 NEWS

令和2年10月 No.8 榎尾中学校区学校開校準備委員会

第6回学校開校準備委員会のご報告

10月1日(木)、第6回学校開校準備委員会を開催しました。

今回は、(仮称)榎尾学園の教育課程イメージの中から「南横山小学校の活用」の観点で意見交換しました。

(仮称)榎尾学園開校後の **南横山小学校の活用** について

(仮称)榎尾学園では、南部地域を1つの学習フィールドとして捉え、地域資源を効果的に活用していくことで「地域とともにある学校」として、特色ある学校教育環境づくりをめざしています。今回は、その中でも、南横山小学校の活用について意見交換を行いました。

活用検討案

○(仮称)榎尾学園では、発達段階に応じた次のような教育課程(案)を検討しています。

ファーストステージ：1～4年生	自然体験等を通じた情操教育と基礎学習の定着
セカンドステージ：5～7年生	主体性を活かした多様な学習
ファイナルステージ：8, 9年生	応用力・発信力を伸ばす探求的学習

○南横山小学校の活用イメージ例

- ・学校林や父鬼川を活かした、**自然体験や情操教育**の実施
- ・南横山小学校で一日を過ごす自然体験 DAY や自然体験 WEEK の実施
- ・全学年一律で活用という形ではなく、発達段階を捉え、**ファーストステージ(1～4年生)での活用を中心**とすることを検討
- ・自然環境を活かせる生活科や理科等の授業の場として
- ・たてわり活動や地域学習・地域交流等の特別活動・総合的な学習の場として



父鬼川での活動の様子

このような、現時点で考えられる教育課程イメージや活用例などをもとに意見交換を行いました。(主な意見は裏面へ)

◎ 主な意見等

(活用方法について)

- ・ たてわり活動の場として。 ・ 他の学校との交流の場として。
- ・ 地域の人たちが利用している時に一緒に使って交流することも良いのでは。
- ・ 地元のこども園との交流の場として。
- ・ 林間学校で活用することはできないか。
- ・ 地域でどう使うのかも、早く検討すべき。

(施設や環境について)

- ・ 学校林や父鬼川は他にはない魅力。
- ・ 規模が小さくなくても、きれいにしていづまでも使えるように。
- ・ 理科学習や自然体験での活用が考えられるので、備品を維持・充実させることが必要。

(課題)

- ・ 移動手段を考えておく必要がある。
- ・ 施設の運営や管理をどうするのか。
- ・ 活用のイメージがわきにくい。もっと知ることが大切。

(その他)

- ・ 高学年での利用方法も考えるべき。
- ・ 今の南横山は PTA や地域と学校が協働する関係ができているからこそ、施設や環境を活かした活用や運営・管理ができています。



学校開校準備委員会の意見交換の様子

特に、**自然環境の良さを活かしていくことや学校だけでなく多様な交流の場としての使い方などについて意見が挙げられました。**また、**地域や PTA などの関わりの大切さやどのように管理・運営していくのか**という課題についても確認されました。

今回の意見も活かしつつ、開校までの間により良い活用や効果、可能性等を研究していきます。

今後の予定

学校施設整備に関する **基本計画を令和 2 年度内に作成** することとしています。

引き続き、学校開校準備委員会や教職員によるワークショップ等を通して、新しい学校のコンセプトや求められる設備・機能などについて意見交換を進めていきます。

ニュースレターをメール配信中！

このニュースレターの受取りを希望される方は、右記 QR コードを読み取っていただき、氏名、「ニュースレター希望」と記載のうえ、ご返信ください。



【お問合せ】

教育・こども部 教育総務課
〒594-8501 和泉市府中町2-7-5
TEL 0725-99-8196 FAX 0725-43-5220
(E-mail) m-junbi-iinkai@city.osaka-izumi.lg.jp